

16. 北アルプス縦走

1) 日程

1985年08月12日～08月14日(前夜発2泊3日)

2) コース

第1日 扇沢—大沢小屋—針ノ木大雪溪—針ノ木峠

第2日 針ノ木峠—針ノ木岳—赤沢岳—鳴沢岳—岩小屋沢岳—種池

第3日 種池—種池山荘—扇沢

3) 記録&コースタイム

年月日	時間		場所	備考	
1985.08.12	06:30	発	扇沢		
	07:10		引返す	道が沢の押出しで崩れているのに気付かず、大幅に時間をロスする。	
	07:30	着	自然歩道入口		
	07:38	発			
	08:23	着	大沢小屋	小雨が降りだす。	
	09:26	発		「山を想えば人恋し、人を想えば山恋し」か……。	
	09:06	着	大雪溪下		
	09:20	発			
	10:08	着	大雪溪上	雪溪の途中で雨は上がるが、ガスが濃く雪溪の全容は解らないまま単調な登りと化す。	
	10:18	発			
	11:20	着	レスト	膝が痛くなり始め、稜線が見え始める頃には、膝を曲げられないほどの痛みとなる。	
	11:30	発			
		11:45	着	針ノ木峠	片足を引き摺るように峠に辿り着き、片足で跳ねるようにしてテントを何とか張る。
	1985.08.13	02:45	起床		膝の痛みは薄らいだが、鈍い痛みが残る。とりあえず種池まで行って様子を見ることにする。
05:05		発			
06:00		着	針ノ木岳		

	06:10	発		
	06:55	着	スバリ岳	歩き始めてすぐこれはダメだと思う。
	07:10	発		
	08:12	着	鞍部	登りはまだましたが、下りはまともに足が着けない。登りも時間の問題だろうと思う。
	08:22	発		
	09:00	着	赤沢岳	なるべくゆっくり歩き続けるようにする。
	09:15	発		
	10:10	着	鳴沢岳	景色など全く見る余裕がない。
	10:20	発		
	11:05	通過	新越山荘	
	11:45	着	ピーク	
	12:00	発		
	12:20	着	岩小屋沢岳	
	12:40	発		
	13:45	着	種池	何とかここまで来たが、この先のキレットなど絶望的だ。ここから降りるしかないだろう。
1985.08.14	03:50	起床		
	05:56	発		
	06:16	通過	種池山荘	ただゆっくり下り続ける。
	08:40	着	扇沢(河原)	ちょうど登る人を乗せてきたタクシーを捕まえて帰る。

これまで冬に個別にしか行ったことのない後立山の山々を繋いで、針ノ木岳から白馬岳まで縦走しようと意気込んで行ったものの何とも情けない結末となってしまった。唯一、自分の責任の範囲で山を降りられたことが幸이었다。

膝を痛めた直接の原因は思い当たらないのだが、今回は荷が重いので登山靴で登ることにした。そして道を間違えて引返す際、河原の道を登山靴ということで無頓着に飛び歩いたことが荷物の重さも含めて全て膝の負担になってしまったのではないだろうかと思っている。当面山にも行けそうにないが、この教訓は生かされなければならないだろう。